

学校だより



令和1年9月30日
横浜市立二谷小学校
校長 石川 秀子

リスペクト

学校長 石川 秀子

夏休み明けから、厳しい残暑が続きましたが、空の雲にも吹く風にも秋を感じられるようになってきました。彼岸に入り、季節の変化を感じ始めた9月20日から、ラグビーワールドカップ日本大会が開催されています。日本がラグビーワールドカップの開催国となるのは初めてで、世界中から強豪国チームが集まり、多くの観戦者が訪れます。9月20日には日本対ロシアの開幕戦が行われ、これを機会にラグビーに関心を持ち、ルールやその魅力をもっと知りたいと思った人もいるのではないかと思います。私もその一人です。

パスをつなぎゴールをめざすスピード感、スクラムを組む圧倒的な力強さ、トライが決まった瞬間の高揚感など、試合の魅力が画面から伝わってきます。加えて、選手やラグビーにかかわる人が語る言葉に何とも言えない魅力を感じます。

前回のイングランド大会では日本チームの活躍が話題となりました。強豪の南アフリカのチームとの試合で接戦の末に勝利をおさめ、歴史的とまで言われました。前回の大会で日本チームの一員として活躍した五郎丸歩さんがある番組でこのようなことを語っていました。「世界の強豪と言われるチームや選手は、プレイが素晴らしいだけではない。例えば前回大会での南アフリカとの試合の直後、勝利の喜びに沸いていた自分たち日本チームの選手は、相手チームの選手から真っ先に握手を求められて勝利を祝福された。勝利に夢中になっていた自分たちははっとした。ラグビーは相手へのリスペクト（尊敬）そのものなのだ。」全力を出し切り、駆け抜け、ぶつかりあった後は、敵味方ともに健闘を称え合う、その試合だけではなく生き方そのものがラグビー。世界の強豪と言われるチームの姿を通して、試合の勝敗にとどまらない強さ、奥深さを感じました。

日常生活でも、相手を尊重したり尊敬を表したり、全力を尽くして取り組んだりする活動は数多くあります。挨拶や返事をする事もお互いを尊重し合う思いを表す場なのだと思います。先週は児童の挨拶運動が行われました。児童運営委員の皆さんが登校時に正門に立ち、元気で気持ちの良い挨拶を呼びかける取り組みです。挨拶運動が終わっても、日常の中でも声を掛け合い認め合うつながりを大切にして精いっぱいみんな頑張ってもらっています。ワールドカップを戦う選手のように精いっぱい頑張り、一つの活動の区切りのたびにお互いを認め合う毎日を作っていきたいと思っています。今月もよろしくお祈りします。

【お知らせ】

現在、1年2組担任の五十嵐政也教諭と6年2組担任の中川久美教諭が加療のためお休みをいただいております。中川久美教諭は引き続き後期より産休に入ります。1年2組の指導は、西かおり主幹教諭を中心に、6年1組の指導は秀徳能尚副校長を中心に複数体制で子どもたちの指導に取り組んでおります。

病休と産休代替の教諭の配属を申請しているところではありますが、今現在連絡はなく、校内の人員で今後も対応をしていきます。後期からは、6年2組に西かおり主幹教諭（児童支援専任を兼務）、1年2組に秀徳副校長を中心に引き続き複数指導体制で子供たちの指導に当たっていきます。年度途中で担任が複数回変わることになり、子どもたちにも保護者の皆様にもご心配をおかけし、申し訳ありません。また、高学年の算数少人数指導に当たっていた田邊由美子教諭も1年2組の指導に当たります。高学年の算数指導は担任中心で行います。保護者の皆様にはご心配、ご迷惑をおかけしますが、どうぞご理解、ご協力をお願いします。